年間授業計画　様式例

高等学校　令和５年度（２学年用）　教科　商業　　科目　情報管理

教　科：　商業　　科　目：　情報管理　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　Ａ 組

使用教科書：（　　）

教科　商業　　の目標：

【知識・技術】　商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ビジネスを通じ，地域

【思考・判断・表現】

【主体的に学習に取り組む態度

科目　情報管理　　の目標：

【知識・技術】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び，企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1企業活動とソフトウェア活用 1 ビジネスにおけるソフトウェアの活用	・身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により，ソフトウェアの意義と重要性を理解する。 ・社会で利用されている情報システムの例や，ビジネスにおけるソフトウェアの活用の実例を学ぶことにより，情報通信ビジネスにおけるソフトウェア活用の重要性を理解する	ソフトウェアの意義と重要性について考え，理解することができたか。 情報通信システムの特徴や処理方式の概要を理解し，ソフトウェアの意義や役割を考え，具体的な利用例を理解することができたか。 ネット通信ビジネスにおける情報通信システムに関心を持ち，各種決済システムなどの，ソフトウェアの意義や役割を考え，理解することができたか。	○	○	○	5
	2 情報資産の保護	・情報資産を保護するため，ソフトウェアの脆弱性への対応や，無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解するとともに，情報を共有するためのファイルとフォルダのアクセス権の設定や，暗号化の種類，データのバックアップなどについての基本的な技術を身に付ける	情報資産を保護するため，ソフトウェアの脆弱性への対応や，無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解し，情報を共有するためのファイルとフォルダのアクセス権の設定や，暗号化の種類，データのバックアップなどについての基本的な技術について理解している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	2　データベースソフトウェアの活用 1 ビジネスとデータベース	データベースの特徴や基本的な機能を理解する。	データベースに関心を持ち，効果的な活用方法や役割などを説明できる思考が身に付いている。	○	○	○	8
	2節　データベースの作成と操作	データベースソフトウェアを活用するための知識と技術について理解する。	データベースの演習に主体的な姿勢で取り組み，テーブル・クエリ・フォーム・レポート・リレーションシップの作成など，データベースソフトウェアの実践的活用のための知識と技術が身に付いている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	データベースの構造	データベースの構造を理解する。また，表を正規化するための手順を理解する。	データベースの表やデータ構造など基本的な知識を理解し，必要に応じた表の正規化ができる知識や思考が身に付いている	○	○	○	5
	5節　SQLの操作	ＳＱＬを用いた汎用的なデータベースの操作方法について理解する。	ＳＱＬの演習について自発的に取り組み，ＳＱＬの文法を理解し，データベースを適切に操作する技術が身に付いている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	5章　業務処理用ソフトウェア 1節　グループウェアの活用	グループウェアを活用することの利点と，グループウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する。	グループウェアに関する知識，技術を身に付け，企業活動の改善に対する業務の効率的な処理について，組織の一員としての役割を果たすため，主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	○	○	○	8
	情報システムの開発 1節　システム開発の基礎	情報システムの開発に関する基礎的な知識，技術について実務に即して理解するとともに，表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発と関連付けて理解を深める。	一般的に利用されているシステム開発モデルについて，各手法の趣旨やメリット，デメリットを理解し，適切な手法を選択することができるか。 表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発において，どのモデルで開発を進めるかを，主体的に考え，思考することができるか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3学期	総合演習	今まで学習したことを踏まえて、グループごとに演習を行う。	グループごとに演習を円滑に進めることができるか？				
	定期考査						
							合計 60